

SATOSHOJI

株主通信

第98期 臨時報告書

佐藤商事株式会社

証券コード：8065



To Our Shareholders

株主の皆様へ



代表取締役会長

村田和夫

代表取締役社長

音羽正利

株主の皆様には、日頃より当社グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期の業績予想ならびに第二次中期経営計画の公表延期に伴い、当社は定時株主総会後にお送りする株主通信の発送を取り止めておりました。さる9月10日、業績予想ならびに第二次中期経営計画を公表する運びとなりましたので、「株主通信 第98期 臨時報告書」をご報告申し上げます。

第二次中期経営計画では、「Challenge & Sustainable growth 20-22」をビジョンとして掲げました。変化を見据えた挑戦を推進しながら、持続的な成長に向けて、収益基盤を強化してまいります。

また、6月19日に開催された、当社第97期定時株主総会についてご報告申し上げます。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止・株主の皆様を安全を第一に考え、様々な施策を講じ株主総会を開催いたしました。例年とは状況が大きく異なる中で株主総会開催となりましたが、株主の皆様にご協力いただき、滞りなく議事進行ができましたことをここに報告申し上げます。誠にありがとうございました。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

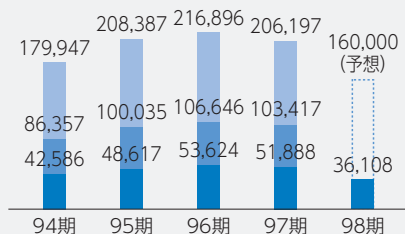
2020年10月

第98期 第1四半期 財務ハイライト(連結)

売上高

36,108 百万円 (前年同期比 30.4%▲)

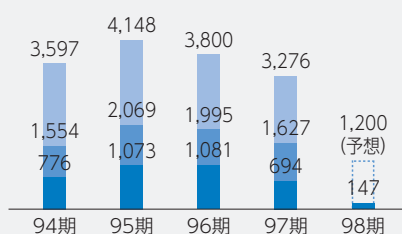
■第1四半期 ■第2四半期 ■通期 (単位:百万円)



営業利益

147 百万円 (前年同期比 78.7%▲)

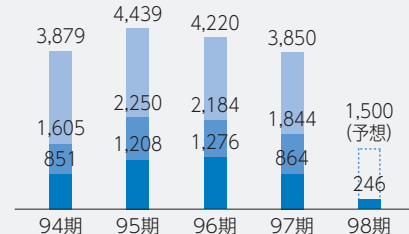
■第1四半期 ■第2四半期 ■通期 (単位:百万円)



経常利益

246 百万円 (前年同期比 71.5%▲)

■第1四半期 ■第2四半期 ■通期 (単位:百万円)



Consolidated Financial Highlights

連結決算ハイライト

業績の概況及び今後の展望

我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により経済活動が抑制され、景気は急速に悪化しました。

このような状況下におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は361億8百万円(前年同期比30.4%減)、営業利益は1億4千7百万円(前年同期比78.7%減)、経常利益は2億4千6百万円(前年同期比71.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千3百万円(前年同期比39.2%減)となりました。

今期2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの業績に与える影響について合理的な算定が困難であった

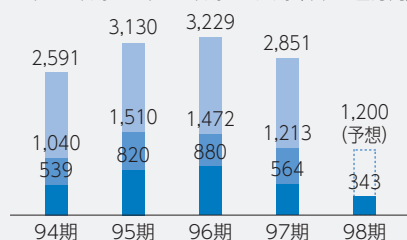
ことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき通期業績予想を算定いたしましたので公表いたしました。今期の通期連結業績予想は、売上高1,600億円、営業利益12億円、経常利益15億円、親会社株主に帰属する当期純利益は12億円を見込んでおります。また、今年度からの第二次中期経営計画におきまして、継続的な安定配当、連結配当性向30%以上、かつ下限は1株あたり年間35円とすることを配当方針として掲げました。今期に関しましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、前期に比べて業績の悪化が予想されますが、内部留保及び投融資とのバランスをとりながら、安定的な株主還元の意向を重視して、前期と同額である年間43円の配当を継続させていただく予定です。

当社グループは、第二次中期経営計画でも掲げている重点課題に取り組みながら、国内及び海外での販売活動を強化してまいります。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

343百万円(前年同期比 39.2% \downarrow)

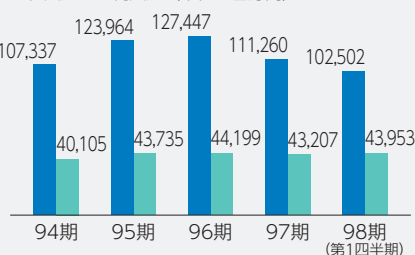
■第1四半期 ■第2四半期 ■通期(単位:百万円)



総資産

102,502百万円

■総資産 ■純資産(単位:百万円)



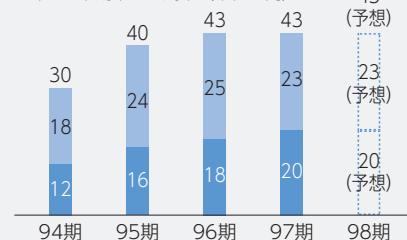
純資産

43,953百万円

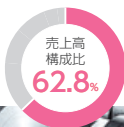
年間配当金

予想**43**円(中間配当金20円予想、期末配当金23円予想)

■第2四半期末 ■期末(単位:円)



鉄鋼事業



売上高 **226**億円（前年同期比 33.0%▼）

■ 事業概況

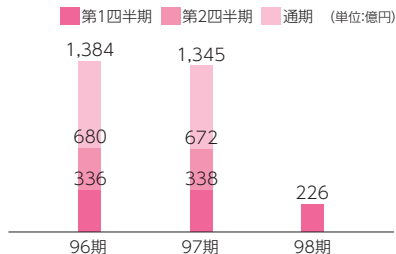
当事業においては、表面処理鋼板、冷延鋼板、酸洗鋼板、棒鋼、条鋼などの普通鋼、構造用炭素鋼、構造用合金鋼、工具鋼などの特殊鋼及び建築用の資材、機材を主に自動車、建産機、建築、電機、造船、金型などの業界に販売しております。

また、各事業所は倉庫を所有し、切断などの一次加工も行っております。福島、栃木、神奈川にはコイルセンターを有しております。

■ 当第1四半期の概況

主要取引業界である商用車業界や国内の建産機業界向けの販売が低調であったこと等により、売上高は226億8千4百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

売上高の推移



非鉄金属事業



売上高 **49**億円（前年同期比 37.0%▼）

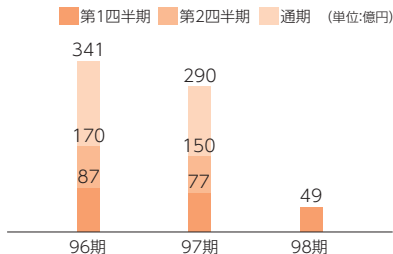
■ 事業概況

当事業においては、アルミニウム、銅、亜鉛、鉛、メタルシリコンなどの素材及び加工品を、主に自動車、機械器具製造、ダイキャスト製造などの業界に販売しております。また、海外で調達した地金、自動車部品などを国内外に販売しております。

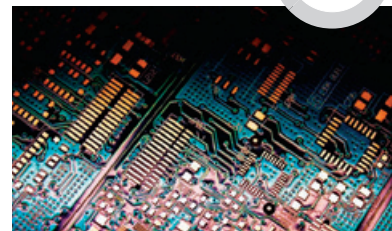
■ 当第1四半期の概況

地金相場の変動による影響に加え、主要取引業界である商用車業界向けの販売が低調であったこと等により、売上高は49億1千1百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

売上高の推移



電子材料事業



売上高 **35**億円（前年同期比 41.6%▼）

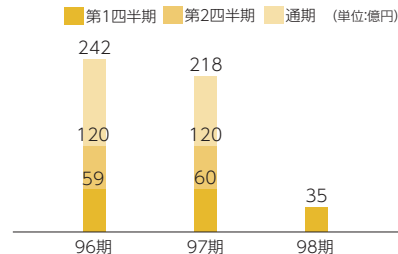
■ 事業概況

当事業においては、電子機器、電気製品及び車載機器に使用されるプリント配線基板用の積層板などの電子材料を、主に電子部品業界に販売しております。

■ 当第1四半期の概況

主力の車載機器向けプリント配線基板用積層板の販売が低調であったこと等により、売上高は35億1千5百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

売上高の推移



第97期から、当社グループ各事業の業績管理と事業戦略の達成を目的として、「機械・工具事業」に含めておりました「営業開発事業」を新たなセグメントとして設けることといたしました。

ライフ営業事業



売上高 **29**億円 (前年同期比 37.3%▲)

■ 事業概況

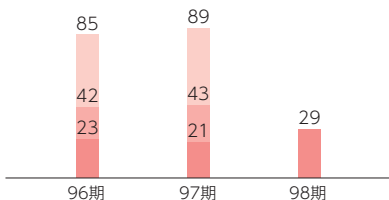
当事業においては、金属洋食器、陶磁器、インテリア用品、貴金属などの製品を、主に百貨店、量販店、ホテルなどの業界に販売しております。加えて、直営アウトレット店の多店舗化をはじめとした小売事業も推進しております。また、輸入カラオケマイクなどの商品をテレビショッピングや通信販売にて販売しております。

■ 当第1四半期の概況

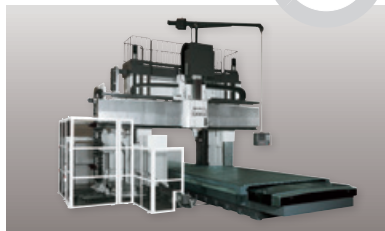
外出自粛による在宅での消費需要が高まり、自社商品販売が好調に推移したこと等により、売上高は29億4百万円(前年同期比37.3%増)となりました。

売上高の推移

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:億円)



機械・工具事業



売上高 **13**億円 (前年同期比 4.4%▲)

■ 事業概況

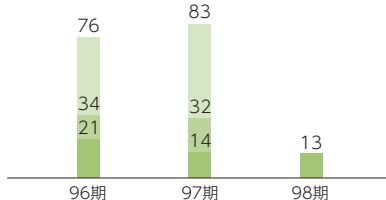
当事業においては、旋盤、フライス盤、研削盤、マシニングセンタなどの工作機械及び工場生産ライン一式、ならびに切削工具、作業工具などを自動車業界を主力に販売しております。

■ 当第1四半期の概況

国内の設備投資需要が低迷したこと等により、売上高は13億5千万円(前年同期比4.4%減)となりました。

売上高の推移

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:億円)



営業開発事業



売上高 **7**億円 (前年同期比 10.4%▲)

■ 事業概況

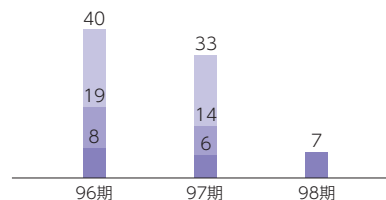
当事業においては、次世代を視野に入れた商品の開発を行いながら、独自の技術を持つメーカーのクレーン、LED照明、空調やコンプレッサーなどの環境配慮型製品の販売しております。また、グループ企業が製造した加温機の設置工事も請け負っております。

■ 当第1四半期の概況

主力の商材及び工事案件を適宜受注したこと等により、売上高は7億4千3百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

売上高の推移

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:億円)



なお、第96期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

2020年度～2022年度 第二次中期

当社グループは、2020年度を初年度とし、2022年度を最終年度とする第二次中期経営計画を策定しました。

第一次中期経営計画(2017年度～2019年度)達成状況について

当社グループが作成した中期経営計画(2017年度～2019年度)に関しましては、当初掲げていた業績目標である「売上高2,000億円、営業利益38億円」に対し、3カ年の連結業績は下表のとおりとなっております。

2017年度及び2018年度はそれぞれ目標数値を達

成しておりますが、最終年度にあたる2019年度の連結業績は、主に鉄鋼部門や電子材料部門の売上高等の減少を受け、営業利益率が低下したこと等により、各達成率は売上高が103%、営業利益が86%となりました。

連結業績推移

(単位:百万円)

期間	当中計 業績目標	2017年度		2018年度		2019年度	
		実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
売上高	200,000	208,387	104%	216,896	108%	206,197	103%
営業利益	3,800	4,148	109%	3,800	100%	3,276	86%

配当については、継続的な安定配当として、連結配当性向は25%以上、かつ下限を原則30円とすることを方針としており、中計期間の3カ年は全て配当方針を上回る実績となりました。

配当実績推移

(単位:百万円)

期間	2017年度	2018年度	2019年度
配当金額	859	922	923
一株当たり	40円	43円	43円
連結配当性向	27.5%	28.6%	32.4%

第二次中期経営計画(2020年度～2022年度)の経営ビジョンについて

▶ 佐藤商事グループの経営理念

「流通・サービスを通じて広く社会に貢献する」

▶ 第二次中期経営計画のビジョン

「Challenge & Sustainable growth 20-22」

- ・変化を見据えた挑戦を推進し、安定した収益基盤を強化する。
- ・持続的な成長に向けて、着実に「収益力」を高めていく。

経営計画を策定

具体的な経営目標について

(1) 資本政策

配当政策	投資予算枠	目標ROIC
連結配当性向目標… 30%以上↑ 前期実績…………… 32.4% 年間配当金目標… 下限35円 (前回下限は30円) 前期実績…………… 43円	投資融資…………… 80億円 (3ヵ年合計額) 人材育成…………… 年1億円	連結目標…………… 4.0%以上 前期実績…………… 3.8%

※全て連結で算出 前期配当総額923百万円

※投資融資は設備投資及びM&A等を含む

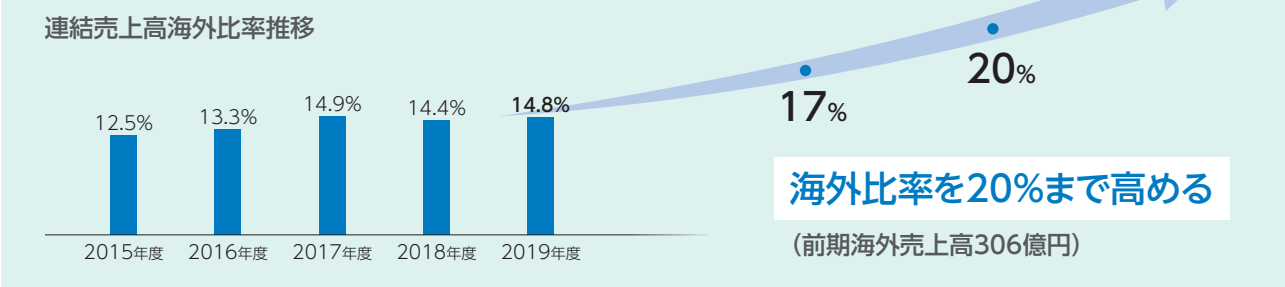
新規：継続的な安定配当として、連結配当性向30%以上かつ下限35円とする。
 前 回：継続的な安定配当として、連結配当性向25%以上かつ下限30円とする。

(2) 業績目標

	2019年度 実績	2022年度 目標
売 上 高	2,061億円	2,200億円
営 業 利 益	32億円	40億円
R O I C	3.8%	4.0%以上

※売上高は、収益認識基準適用前の数値で算出 (現行基準)

(3) 海外比率



2020年度～2022年度 第二次中期経営計画を策定

経営基盤の強化について

組織体制強化

主な取り組み

加工品管理強化

- 加工品管理に特化した組織の構築
- 加工品拡販 → 加工品管理全般のレベルアップ

横断的な拡販活動

- セグメント部門の横断的な展開による新商材発掘
- ユーザーに対するセグメント部門を超えた商材の提案

システム投資

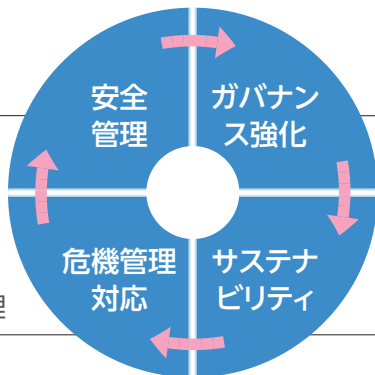
- デジタル化による業務合理化とデータ活用の推進
- 通信環境／情報セキュリティの強化による業務の効率化

海外人員強化

- 海外拡販 → 海外駐在人材の育成
- 現地採用人員の増員及び育成

全社的な取り組み

- 安全最優先
- 作業環境改善



- グループ管理強化
- リスク管理

- 勤務形態多様化
- 供給体制課題整理

- SDGsへの取り組み
- 環境負荷低減

各施策の
進捗管理

経営基盤
の強化

重点課題

第二次中期経営計画では、以下の重点課題に取り組みながら、目標の達成に向けて活動してまいります。

1 横断的な販売活動の促進と新商材の発掘

各事業部門で横断的な情報共有を行いながら、既存商流からユーザーの新たなニーズを取り込むことにより、全社的な拡販活動を促進する。また既存商材だけでなく、新たな商材を見出しながら、市場環境の変化に対応していく。

2 働きやすい職場環境作り

テレワーク等による勤務形態の多様化や適材適所での人材活用を推進し、社員が働きやすい環境をつくる。

3 デジタル化による業務の合理化

高度なシステムを活用しながら、全般的な業務の合理化及びペーパーレス化を推進していくとともに、通信環境や情報セキュリティ管理を強化して、テレワーク等による業務効率化を図る。

4 国内外での投資活動

引き続き、国内及び海外拠点の整備や全般的な拡大投資を行うとともに、保有不動産の有効な活用を推進していく。

5 海外人材の育成

海外駐在者や現地採用社員の育成を強化し、海外拡販に向けた販売体制を充実させる。

6 管理体制の強化

現場の安全管理体制や当社グループ全体でのリスク管理体制等を強化しながら、引き続き、内部統制や監査機能を充実させる。

国内展開

子会社大東鋼業を移転増強

5月、当社100%子会社で鋼板加工の大東鋼業株式会社が神奈川県藤沢市に移転し、新工場の操業を開始しました。

新工場は当社旧神奈川コイルセンター跡地で半年間の改修工事を経て2月に竣工。移転前の旧工場(川崎市)から建屋面積は約7倍に大幅増床しました。

新工場では、シャーリング機を1基増設、母材搬入用の補助装置や製品の集積装置を導入し、安全性や作業性も高めました。

工場移転を機に、鋼管、特殊鋼棒鋼の加工も開始。同一市内にある神奈川コイルセンターと拠点集約することによって、即納体制の強化、輸送効率向上のシナジー効果も期待されます。



海外展開

シンガポールに電子材料販売の現地法人設立

当社は、電子材料部門の海外現地法人として、東アジア、東南アジアに7拠点(香港、タイ、韓国、中国広州・上海、シンガポール、台湾)を設け、海外事業の拡大を進めてまいりました。

このたび、インド地区、アセアン地域のお取引先へのさらなるサービス向上や取引の拡大を目的に、シンガポールをより重要な拠点と位置付けることといたしました。

本年2月、香港佐藤商事有限公司のシンガポール支店を独立させ、新会社「SATO SHOJI ASIA PACIFIC PTE. LTD.」として設立、4月より営業開始しております。

今後、お取引先へのさらなるサービス強化、事業・販路拡大に努めてまいります。

シンガポール



海外ネットワーク

現地販売会社

香港佐藤商事有限公司〈電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)
上海佐商貿易有限公司〈鉄鋼・非鉄金属・電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)
上海佐商貿易有限公司 常州分公司〈鉄鋼・非鉄金属/鋼材倉庫〉
SATO-SHOJI(THAILAND)CO.,LTD.〈鉄鋼・電子材料販売〉[\[連結子会社\]](#)
SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD.〈非鉄金属・鉄鋼販売〉[\[連結子会社\]](#)
SATO-SHOJI(VIETNAM)CO.,LTD. HANOI BRANCH〈鉄鋼・非鉄金属販売〉
佐藤塑料玻璃(蘇州)有限公司〈合成樹脂加工販売〉
広州佐商貿易有限公司〈電子材料・鉄鋼販売〉
韓国佐藤商事株式会社〈電子材料・鉄鋼販売〉
PS DEVICE & MATERIAL INC.〈電子材料販売〉

SATO TECHNO SERVICE(THAILAND)CO.,LTD.〈工作機械の販売、機械修理サービス〉
SATO-SHOJI(CAMBODIA)CO.,LTD.〈鉄鋼・非鉄金属販売〉
SATO SHOJI ASIA PACIFIC PTE. LTD.〈電子材料販売〉[新会社](#)
PT.SATO-SHOJI INDONESIA〈鉄鋼・非鉄金属販売〉
SATO-SHOJI INDIA PRIVATE LIMITED〈鉄鋼・非鉄金属販売〉

合併製造会社

YUASA SATO(THAILAND)CO.,LTD.〈クランクシャフト製造〉[\[持分法適用会社\]](#)
曾我部(蘇州)減速機製造有限公司〈減速機製造〉
UCHIDA-SATO TECH(THAILAND) CO.,LTD.〈鍛造用ダイホルダー製造〉
THAI KJK CO.,LTD.〈自動車部品製造〉

当社オリジナル商品のご案内

D & S

DESIGN AND STYLE



Panini Maker (パニーニメーカー)

本格的な焼き目が付いたサクサクのパニーニで朝食やランチをおしゃれなカフェタイムに！

本格的なパニーニを自宅で楽しめるパニーニメーカーが発売されました。パンも食材も自分の好みのものをチョイスして好きな味が楽しめます。オリジナルレシピのとおりを作るだけでも大満足間違いなし！

自動調節プレート



食材の厚さに合わせて上のプレートが動くのでボリュームのあるパニーニも焼けます。食パンは耳付きのまま調理できます。

仕切りのないプレート



山型の食パンやフランスパンなどいろいろなパンで調理できます。

オリジナルレシピ付き

- ・えびアボカドサンド
- ・ハムチーズパニーニ
- ・ピザ風パニーニ
- ・BLTイングリッシュマフィンサンド
- ・チョコバナナパニーニ



予熱ランプ搭載

価格：5,000円(税別)

サイズ：約W267×D216×H83mm

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間
	2020年3月31日現在	2020年6月30日現在
資産の部		
流動資産	82,187	72,147
固定資産	29,072	30,355
有形固定資産	16,506	16,681
無形固定資産	183	179
投資その他の資産	12,382	13,494
資産合計	111,260	102,502
負債の部		
流動負債	54,943	45,877
固定負債	13,109	12,672
負債合計	68,052	58,549
純資産の部		
株主資本	39,290	39,147
資本金	1,321	1,321
資本剰余金	868	867
利益剰余金	37,372	37,221
自己株式	△ 272	△ 262
その他の包括利益累計額	3,615	4,511
その他有価証券評価差額金	3,427	4,261
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	191	243
退職給付に係る調整累計額	△ 3	4
新株予約権	296	288
非支配株主持分	5	6
純資産合計	43,207	43,953
負債純資産合計	111,260	102,502

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	2019年4月1日～ 2019年6月30日	2020年4月1日～ 2020年6月30日
売上高	51,888	36,108
売上原価	47,951	33,195
売上総利益	3,937	2,912
販売費及び一般管理費	3,243	2,764
営業利益	694	147
営業外収益	315	238
営業外費用	144	139
経常利益	864	246
特別利益	1	380
特別損失	45	73
税金等調整前四半期純利益	820	553
法人税、住民税及び事業税	406	352
法人税等調整額	△ 151	△ 142
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	343

Corporate Data & Stock Information

会社概要・株式の状況 (2020年3月31日現在)

■会社概要

商号 佐藤商事株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
 本社 丸の内トラストタワーN館16階
 TEL:03-5218-5311

設立 1949年(昭和24年)2月5日

資本金 13億2,136万8,450円

従業員数 連結992名 単体640名

ホームページアドレス <https://www.satoshoji.co.jp/>

■役員 (2020年6月19日現在)

取締役及び監査役

代表取締役会長 村田 和 夫
 代表取締役社長 音羽 正 利
 取締役 田浦 義 明
 取締役 野澤 哲 夫
 取締役 浦野 正 美
 取締役 須賀 和 徳
 取締役(社外) 斎藤 脩
 取締役(社外) 小谷 健
 常勤監査役(社外) 響庭 典 宏
 監査役(社外) 原 嘉 男
 監査役(社外) 赤石 幹 雄

※当社は取締役 斎藤脩氏、小谷健氏、常勤監査役 響庭典宏氏、監査役 原嘉男氏及び赤石幹雄氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

執行役員

代表取締役会長 村田 和 夫*
 代表取締役社長 音羽 正 利*
 専務執行役員 田浦 義 明*
 常務執行役員 野澤 哲 夫*
 常務執行役員 村上 毅 一郎
 常務執行役員 浦野 正 美*
 常務執行役員 藤 倉 諭
 上席執行役員 秋 元 雅 行
 上席執行役員 小 松 和 夫
 上席執行役員 小 野 誠 一
 上席執行役員 内 田 秋 夫
 上席執行役員 須賀 和 徳*
 上席執行役員 伊 藤 明 彦
 執行役員 西 山 正 弘
 執行役員 長 田 博 夫
 執行役員 杉 井 淳
 執行役員 奈須野 匡
 執行役員 田 中 久 義(新任)
 執行役員 村 田 智(新任)

※*は、取締役を兼任する者であります。

■株式の状況

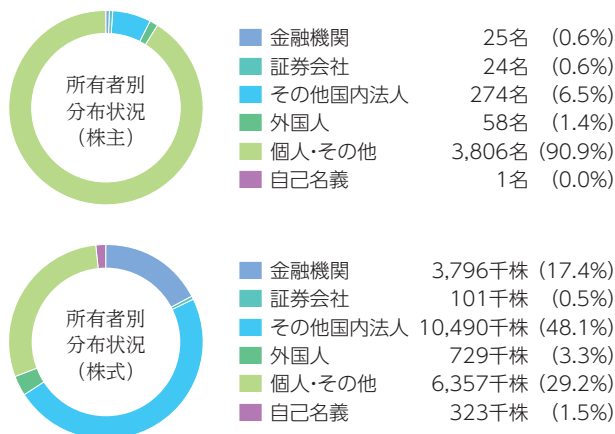
発行可能株式総数 87,000,000株
 発行済株式の総数 21,799,050株
 株主数 4,188名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三神興業株式会社	1,584	7.4
いすゞ自動車株式会社	1,451	6.8
日野自動車株式会社	1,270	5.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	806	3.8
NOK株式会社	619	2.9
株式会社りそな銀行	554	2.6
三原不動産株式会社	530	2.5
日本シイエムケイ株式会社	512	2.4
JFEスチール株式会社	500	2.3
山陽特殊製鋼株式会社	499	2.3

持株比率は自己株式(323千株)を控除して算出しております。

■株式分布状況



当社の事業所・関連会社のグループネットワークは日本全国に広がっています。

■事業所

苫小牧支店	長野支店
札幌ライフ支店	浜松支店
岩手支店	名古屋支店
秋田支店	名古屋ライフ支店
大館支店	名古屋鋼材センター
鶴岡支店	滋賀支店
山形支店	大阪支店
福島支店	大阪ライフ支店
郡山支店	関西鋼材センター
鉄鋼二部第一課(茨城)	兵庫支店
栃木支店	岡山支店
太田支店	岡山鋼材センター
埼玉支店	福山支店
神奈川支店	広島支店
神奈川コイルセンター	広島ライフ支店
新潟支店	四国支店
長岡支店	北九州支店
新潟流通センター	九州支店
北越支店	福岡ライフ支店
富山支店	熊本支店

■国内連結子会社



エヌケーテック株式会社	メタルアクト株式会社
日本洋食器株式会社	佐藤ケミグラス株式会社
大東鋼業株式会社	富士自動車興業株式会社

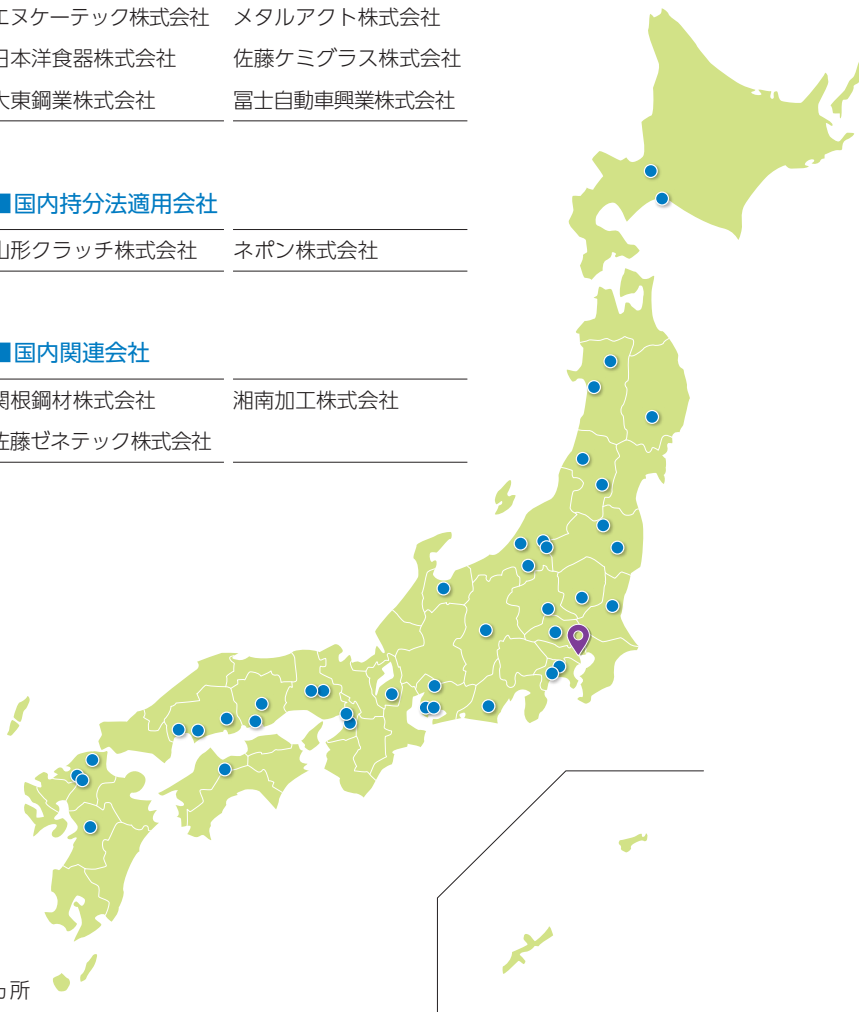
■国内持分法適用会社

山形クラッチ株式会社	ネポン株式会社
------------	---------

■国内関連会社

関根鋼材株式会社	湘南加工株式会社
佐藤ゼネテック株式会社	

 本 社
 事業所 40ヵ所



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.satoshoji.co.jp/ir/index3.html
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関する手続き

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

佐藤商事株式会社

〒100-8285 東京都千代田区丸の内一丁目8番1号
丸の内トラスタワーN館16階
TEL:03-5218-5311 FAX:03-3286-1311



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。